

仕 様 書

救 助 工 作 車 II 型

平成 3 1 年度

岐 阜 市 消 防 本 部

救助工作車（Ⅱ型）・仕様書

第1章 総則

- 1 この仕様書は、岐阜市消防本部（以下「消防本部」という。）が平成31年度本巢消防署に更新配備する救助工作車Ⅱ型（以下「救助工作車」という。）の製作及びそれに関する一切に適用するものとする。
- 2 契約にあたっては、本仕様書を十分熟知するとともに、疑義が生じたときは、必ず消防本部担当者に質問すること。なお、契約後生じた疑義の一切は、全て消防本部の解釈に従うものとする。
- 3 この仕様書に定める他、車両の規格等、関連法令、基準に適合するとともに、完成後は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- 4 本救助工作車は、あらゆる災害救助活動に対応できるよう、キャブオーバー型ダブルキャブ低床式5.5トン級消防専用シャーシ（4輪駆動方式）後軸増トン仕様、ウインチ装置、クレーン装置、発電装置、照明装置を装備し、車両ボックス内に積載した救助用資機材等を活用して災害時の人命救助活動に対応するために製作するもので、各部構造装置は堅牢で耐久性に富んだ部材で製作すること。
- 5 本仕様書に明記されていない事項は、メーカー公表の標準仕様とする。
- 6 車両製作に使用するすべての機械、積載品は、最新型のものであること。
- 7 この仕様書に疑義が生じた場合、又は変更を必要とする場合は、事前に消防本部担当者へ連絡の上、指示又は承認を受けるものとする。
- 8 受注者は、製作に先立ち、消防本部と細部にわたり十分な打合せを行った後、速やかに下記の図書を各3部、契約後60日以内に提出し、受注者は消防本部の承認を受けた後、艤装、改造を行うものとする。
なお、提出図書は、A4版ファイルに製本のうえ本部に提出する。
(1) 救助工作車製作前に次の書類を提出し、消防本部の承認を得ること。
 - ア 製作工程表（契約締結8週間以内に提出する。）
 - イ 艤装5面図（前、後、上部、両側面）
 - ウ 主要装備品図及び架装図
(ア) ウインチ装置

- (イ) クレーン装置
- (ウ) 発電装置（発電機組立図含む。）
- (エ) 照明装置
- (オ) 操作盤（制御盤、配電盤）
- エ 電気系統図、配線図及び油圧配管図
（配線、容量及び数量一覧表及び無線取付概要図を含む。）
- オ 改造自動車計算書
- カ 積載機材類の積載概要図
- キ 車両総重量計算書

9 本救助工作車の納車時に次の図書を製本（各2部）し、消防本部に提出すること。

- (1) 取扱説明書
 - ア 車両取扱説明書
 - イ 装備品取扱説明書
 - ウ 救助用資機材取扱説明書
- (2) 改造自動車等審査結果通知書の写し
- (3) 自動車検査証の写し（新規登録直後、速やかに提出すること）
- (4) 機材積載要領図（積載品等一覧表を含む）
- (5) 主要装備品及び架装図
 - ア ウインチ装置
 - イ クレーン装置
 - ウ 操作盤（制御盤、配電盤）
- (6) 修理説明書（各装備装置含む）及びパーツリスト
- (7) 写真（カラーサービス版、CD-R付）
 - ア 艀装行程写真
 - イ 完成写真（新規登録後のナンバー付のもの）
 - (ア) 完成車の車両外観四面、左右斜め前方及び車内三面 4枚組
 - (イ) 積載品、付属品 4枚組
 - (ウ) ボディー各部の状況、取り付け部品の状況 4枚組
 - (エ) その他消防本部指示のもの
- (8) 緊急自動車届出確認書（正）
- (9) 各種性能試験等の成績表（発電機、クレーン、ウインチ、照明装置を含む）
- (10) 車両保証書
- (11) その他消防本部が指示するもの
 - ア 本仕様書記載事項で疑義又は、仕様の変更が生じたときは、消防本部担当者の指示を受け協議後、仕様の変更については全て文書にて消防本部へ報告

するものとする。

イ 仕様書に明記されていない点は、メーカーの公表の標準とする。

ウ 本仕様書文中で前後左右の意味は車両の進行方向に向かってとする。

10 登録等に係る費用は次のとおりとする。

(1) 自動車新規登録に係る必要な経費（重量税を除く）、車検手続き、船舶検査手続き、高圧ガス容器登録及び本仕様で示された機能を十分満足する機器の調整、その他の費用は受注者の負担とする。

(2) 改造又は変更部分の検査に要する費用は、受注者の負担とする。

(3) 仕様書及び承認書類に基づく、中間検査、完成検査は消防本部の指定した場所
で実施する。

11 この仕様書の事項で、その機能が十分達成されるものであれば変更することができるが、この仕様書の内容を下回ることはできない。また、仕様書に定めのない事項及び細部については消防本部と協議し、指示を受けること。

なお、受注者が公表している標準艤装、取り付け装置、積載品等はすべて含むこと。

12 完成車は消防車として岐阜陸運支局に新規登録し、燃料を満量にし、消防本部が行う検査及び試験に合格した後に引き渡しをするものとする。

13 納入後、消防本部の救助隊員に取り扱い操作要領の説明を行うこと。

なお、救助資機材を使用するために付属品等が必要とされる場合は、最低限の必要な部品を取り付けて納入すること。

14 現在使用している救助工作車の資機材を引き取り、受注者の負担で処分すること。なお、引き取り資機材については、消防本部担当者と協議すること。

15 保証期間

保証期間は、納入後1年とする。ただし、保証期間経過後であっても、設計、艤装及び資機材等に起因する不都合な事項は、受注者の責任において早急に対処するものとする。

16 納入後、2回（1ヶ月又は1,000km以上及び3ヶ月又は5,000km以上）の新車点検を無償で実施すること。

17 納入後1年以内に、主要装備品等の年次点検等は無償で実施すること。

18 納入期限

平成32年3月31日までとする。

19 数量及び納入場所

数量 1台

所属 本巢消防署

場所 本巢郡北方町加茂1丁目23

第2章 シャーシ仕様

1 本救助工作車に使用するシャーシは国家検定に合格した、キャブオーバー型ダブルキャブ低床式4輪駆動シャーシで最新型とする。また、この仕様書に於いて指定した以外の装備については、シャーシメーカーが公表した標準取り付け品が装備されているほか次のとおりとする。

(1) 型別 キャブオーバー型ダブルキャブ5.5トン級消防検定シャーシ（最新）

後軸仕様 増トン（11.99トン仕様）

(2) ホイルベース 3,790mm程度

(3) エンジン ディーゼルエンジン

総排気量 5,000cc以上

自動車最大出力 約230ps以上

消防ガバナード装置式

（オールスピードガバナード式1,800rpm作動）

新長期規制値をクリアする車両とすること。

(4) 駆動方式 4輪駆動方式

(5) 変速装置 オートマチックトランスミッション

(6) 全長 8,100mm以下

(7) 全幅 2,350mm以下

(8) 全高 3,250mm以下

(9) 乗車人員 前席2名、後席3名、計5名

(10) シャーシフレームは捻れ等に対し堅牢な構造とし、増トン対応型とすること。

2 本シャーシの装備取り付け品付属品は、次のとおりとする。

(1) ブレーキ ABS方式、排気ブレーキ

(2) サスペンション 悪路用（リーフスプリング増し）

(3) エアコン 純正品1式

(4) バッテリー 12V-155AH又は同等以上のもの×2

(5) オルタネーター	24V-90AH以上
(6) パワーウィンドウ	全席
(7) 操舵装置	チルトステアリング、フロントスタビライザー
(8) サイドミラー	熱線ヒーター付き電動リモコンミラー 左側電動格納式
(9) キャブチルト装置	電動油圧式（支持棒付き）
(10) オイルパンヒーター	キャブタイヤコード10m付
(11) 車体ジャッキ	専用ジャッキ（一式）
(12) 車両後退警報機	一式（音声指示付き）
(13) ラジオ	AM/FM
(14) 時計	大型デジタル時計
(15) バックアイモニター	1式（取付方法は協議）
(16) ドライブレコーダー	ドライブレコーダー （WITNESS 最新のもの 補助カメラ トリガーボタンCFカード）
(17) サンバイザー	運転席、助手席
(18) サイドバイザー	キャビン各ドア上部
(19) スペアタイヤ	1式
(20) タイヤ	オールシーズンラジアルタイヤ（BS製高荷重用16PR1台分）
(21) 計器類	エンジン回転計（積算計付き）、油温計、電流計
(22) タイヤチェーン	1式（固定バンド付き）
(23) フロアーマット	1式（前後席）
(24) マッドガード	大型4個
(25) 予備ヒューズ	取付数と同数
(26) 車両標準工具	1式
(27) 消防マーク	1個（150mmキャビンフロント中央車両メーカーマーク取り外し）
(28) 反射板	1式（追突防止用）
(29) 前照灯	LEDランプまたはディスチャージランプ フォグランプも同様とする
(30) 路肩灯	1式（車両左右各2カ所）
(31) 後退灯	1式（車両後部2灯）
(32) 三角表示板	1枚
(33) 燃料タンク	100リットル対応型
(34) 車両動態装置（AVMGPS）	一式
(35) その他	シャーシメーカーが公表した標準装備とする。

第3章 キャビン艙装仕様

1 キャビン構造

- (1) キャビンは、5名乗車のダブルキャブで赤色警光灯一体型ハイルーフにすること。
- (2) CFRP製のハイルーフ仕様にする。

2 キャビン外装

- (1) キャビン上部は強固な骨組みを取り付け、その上をアルミ縞鋼板で囲うこと。
- (2) 取り付けるアルミ縞鋼板は、キャビン上部をほとんど覆うものとする。
- (3) 上部をフラットに仕上げるとともに8カ所（四隅及び前後左右中央部分）にステンレス製D環（耐荷重50kg以上）を取り付けること。

なお、取り付ける数量、位置については消防本部担当者と協議すること

- (4) 取り付けたアルミ縞鋼板は、動重量150kg（静荷重300kg）以上の荷重に十分耐えられるように、キャビン上部及びキャビン内天井に適切な補強を行うこと。

- (5) サイレン、警鐘、拡声の3種切り替え式の最新大阪サイレン製アンプを取り付けること。スピーカーは、電子サイレンアンプに適合するものであること。

また、必要に応じてキャビン内のサイレン音を減衰できる機能を有しているものとする。また、取り付け位置はキャビン上部ハイルーフへ設置または内蔵とし、防雨防雪カバーを取り付けること。（大阪サイレン製アクティブ制御スピーカーMRA-SP-30R）

- (6) モーターサイレンは、キャビン上部ハイルーフ内蔵とすること。
- (7) 赤色警光灯は、高感度LEDでハイルーフ一体型とすること。また、キャビン上部ハイルーフ前方部の適切な位置に取り付けること。（大阪サイレン製MRA-B310）
- (8) 赤色警光灯本体重量、車両走行中の振動及び雨水の浸入に十分に耐えられるよう適切に補強等を行うこと。

- (9) 赤色点滅灯は、下記の場所に取り付けること。

ア フロントグリル 2個

イ フロントスポイラー（左右） 各1個

ウ 車体資機材収納部の上部板（左右） 各2個

エ 車体資機材収納部の後面上部（左右） 2個

- (10) 標識灯はハイルーフ一体型とし、左右に各1箇所とすること。地は黄色、指定文字は、黒色で「本巢署」と記入すること。

- (11) キャビン左下方にバッテリー専用引き出し式ボックス（ローラー引き出し式）をキャビン右下方に照明装置用コントローラーを収納できるボックスをそれぞれ

れ設けること。

- (12) 車両前部にロック装置付き牽引用ピンドルフック（ステンレス製）、後部に外れ止め付き牽引用フックをシャーシフレームから取り出し（使用荷重3トン以上）各2個を設けること。
- (13) 音声合成装置を設けること。音声合成装置は最新大阪サイレン製品とし、車載アンプに接続して運転操作に連動した音声メッセージ出力ができること。音声メッセージの種類は、標準搭載メッセージのCH1～CH5を設定し、メッセージ内容は別途指示する。ただし、後退放送は別スピーカーとし、解除スイッチをキャビン内に設けること。
- (14) 後部ステップは、後席乗員が安全に乗降できる様、アルミ二段ステップ（グレーチング仕様）とすること。なお、乗車人員の安全な乗降に必要な握り棒又は、手摺りを設けること。
- (15) キャビン上部中央に無線電話装置及びAVM等のアンテナ等を取り付けることとし、無線の取り付けに関しては、無線取り扱い業者と協議すること。
- (16) 電装品の各配線は、キャブ内張内を通しキャブ本体の貫通箇所は、雨水等の漏れを防止する構造とする。
- (17) キャビン艙装については、各関係業者間において事前に十分な打ち合わせを行うこと。（無線機用の外部スピーカー等）

3 キャビン内部

- (1) 乗車定員は5名（前2人、後3人）とし、安全に乗車できる座席を設けること。
- (2) 乗車人員の乗降時及び、走行時において、安全に必要な握り棒、手摺り及びシートベルトを設けること。
- (3) 後部の背当ては、空気呼吸器の着装が容易に行えるよう呼吸器埋め込みポストロム式とし、空気呼吸器取付装置（7リットルボンベ用クイックホルダー3基）及び面体用フックを設けること。
- (4) 後部座席の座面は跳ね上げ式とし、背板は呼吸器内蔵型とすること。また、長距離、長時間の移動の際も座面水平を維持することができる適切なクッション構造とすること。
- (5) 後部座席の、床面から天井までの有効高さは、1,800mm以上とすること。
- (6) 後部座席は、跳ね上げた時に足元空間（前後600mm程度）を最大限確保し大型資機材の平積み積載も可能とすること。
- (7) 後部座席座面下部に、車両ナビゲーションシステム装置が収納できるスペースを設けること。
- (8) 後面ガラス窓内側に、ステンレス製保護枠を取り付けること。
- (9) ダッシュボードに各取り付け装置の最新製10連スイッチ集合盤を設け、スイッチ類毎に名称及びパイロットランプに、その旨を銘板表示すること。

なお、センターコンソールボックスは小物入れとして兼用できるものとする。上蓋はワンタッチ脱着式としボックス内には各警報装置関係、艀装関係ヒューズボックス等を付けること。

- (10) 重量150kg以上の荷重に十分耐えられるよう天井に適切な補強を行うこと。
- (11) 運転席及び助手席の上部に単独・ドア連動スイッチ付のLED屋内灯を各1個取り付けること。（もしくは中央部分に長方形型LED屋内灯1個）
- (12) 後部座席の上部に単独・ドア連動スイッチ付のLED屋内灯を左右各1個取り付けること。（もしくは中央部分に長方形型LED屋内灯1個）
- (13) 前席と後席座席の中央部（後部座席前方）に直径32mm程度のステンレスパイプによる手摺りを設け、可動フック8個を取り付けること。
- (14) 前席と後席座席の中央部（後部座席前方）に図面等が収納できるスチール製ボックスを設けること。（別途協議すること）
- (15) 後部座席上方前方に幅1,660mm×長さ600mm程度の棚を、後方に幅1,660mm×長さ320mm程度の棚を設けること。
- (16) 前席中央部に、スイッチ類、アンプ類、無線機を集中して取り付けること。
なお、AVMモニターの取り付け位置は協議すること。
- (17) 助手席から操作できる位置にモーターサイレンのスイッチを設けること。
なお、モーターサイレンのスイッチと解るよう明示すること。
- (18) 内張は電装品及び各配線の点検が容易に行える構造とすること。
- (19) 無線障害を防止するための処置を施すこと。
- (20) ワイヤレスマイクとアンプ(ユニペック製4点セット、60w型)、スピーカーは赤色灯サイレンスピーカーと兼用とする。受信アンテナのケーブル貫通部の防水気密を確実にすること。
- (21) 車両動態端末(AVMGPS)については、既存の工作車(本巢署救助工作車)に積載してある車両動態端末(AVMGPS)1式を取り外し納入する救助工作車に配線し取り付けること。配線、アンテナ等は新品とする。

なお、以下の端子を装備した車両位置動態車載端末装置アダプターボックスを取付けること。

- ア バッテリープラス端子
- イ バッテリーマイナス端子
- ウ ACC端子
- エ 車速パルス信号
- オ バック信号

- (22) 無線電話装置は、既存の車両に積載してある無線機を取外し、納入する車両に取付けること。

なお、配線及びアンテナ、スピーカー等は新品を使用すること。

- (23) ドライブレコーダー一式(WITNESSの最新、補助カメラ、トリガーボタ

- ン、CFカード)を納入する車両に取付けること。
- (24) 助手席のシートは空気呼吸器収納式シートとする。
 - (25) 前後座席には、防水シートカバー施すこと。
 - (26) 運手席まわりの各スイッチ類を、夜間でも充分視認できるよう照明を設けること。
 - (27) 後方視界用カラーモニターをリヤエプロン中央上部(保護カバー付)に設けキャビン内のルームミラー型モニターで常時確認出来ること。

第4章 車体艤装仕様

1 車体艤装に関する一般的事項は次のとおりとする。

- (1) 車体の構造及び艤装は、堅牢で耐久性を十分考慮して制作すること。
- (2) 車体の骨組みは完全に自立する構造とし、側板、腰板、シャッター扉等には直接大きな荷重を負担させないこと。
- (3) 本車体のシャーシに骨組みを取り付ける場合は、原則としてリベット継ぎ手又はボルト締め(緩み止めを施す)により行うこと。
- (4) 艤装に使用する材料は精選し、耐蝕性に優れた材料を用いること。
- (5) 艤装は、各装置の点検が容易に行えるよう組み立て取り付けること。
- (6) 艤装完了時には、鋭利な突起が残存しないものとし、ボルト、ナット等は全てステンレス製とし危害防止上安全な仕上げを行うものとする。
- (7) 車両最後部両側面に車幅灯を取り付けること。(ヘッドライト連動)
- (8) 作業灯は下記の場所に取り付けること。
 - ア キャビン後部扉上部(左右) 各1個(MYSW-L600H-W)
 - イ 車体資機材収納部の手動開閉式アルミシャッター上部板(左右) 各2個
 - ウ 車体資機材収納部の後面上部(左右) 各1個なお、イ及びウの作業灯のスイッチは車体側面に設けること。
- (9) 車体の両側面リアフェンダーは展開ステップ(チェーン・アームレス式構造)とし、前後ステップとの高さを揃えるフラット式にすること。

2 積載品の収納ボックスの艤装は、次のとおりとする。

- (1) 荷台の積載スペースは、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」別表第1、第2に定める救助資機材及び消防本部が指定する救助資機材を積載可能なものとする。
- (2) 荷台は、中央で分割し、両側面を左右1区画とすること。左右に手動式開閉式アルミシャッターを設け、左側は2枚のシャッター、右側は3枚のシャッターで区切ることとし、左側の後部に担架等を縦積みできる区画を設けること。また、両側面の下部には、できるだけ大きくボックスを設け、両側面とも下蝶板式二重ロック装置とし、上部の機械の取り出しを容易にするため、扉(内側

はアルミ縞板)は、ステップ(チェーンレス)として利用可能な強度の構造とすること。

なお、艀装上、引き出し式ステップとする場合など、加工方法は協議すること。

- (3) 歪みやがたつき等がなく安全ロック付き(鍵付き)構造とすること。
- (4) 荷台内の資機材は、全て固定器具やベルト等によって確実に固定するとともに、脱着が容易に行えるようにすること。
- (5) 荷台内の資機材の積み降ろしを容易にするため、大型転回扉、パターン扉、アルミボックス、可倒式パイプローラー、引き出し装置等を必要に応じ、設けること。

油圧救助器具のパワーユニットは、容易にエンジン始動ができ、持ち運びできるようにすること。
- (6) 荷台内には、救命索発射銃用格納ボックスを設けること。
- (7) 荷台内の後部に、マンホール救助器具又は簡易起重機、キャビン側面にバスケット担架・バックボード等の長尺救助資機材が収納できるボックスを設け、車両後部又は車両側面から容易に降ろせる構造とすること。
- (8) 車両後部の収納スペースの左右にウインチ用フック及びシャックル用引出装置付近収納ボックスを設けること。
- (9) 資機材の格納配置については、重量物品をできるだけ下方に積載するように考慮するとともに、同一用途ごとにまとめて収納すること。
- (10) 荷台には、水抜き穴を設け、必要に応じ排水パイプを取り付けて車体の下方に取り出すこと。
- (11) 荷台には、格納資機材を有効に照明でき、極力突出のない室内灯(保護枠付き)を設け、メインスイッチを運転席に設けること。

なお、室内灯の位置は、資機材積載時を考慮し、ボックス内手前側とすること。
- (12) 荷台のシャッターの開閉状況(半ドア等)が、運転席において確認できる装置を設けること。
- (13) 荷台の上部はアルミ縞鋼板とし、雨水が滞留したり浸水等のないような構造とすること。また、赤色警光灯(LFA300)、作業灯(LIA-300)が取り付けられるよう両側に側板の立ち上げを設けること。
- (14) 荷台には、昇降することができる梯子(ステンレス製)を車輛の前後部の両側に設けること。

なお、梯子の横棧部分にはアルミ縞鋼板を張ること。
- (15) 荷台の上部には、三連梯子及び鍵付き梯子を2段で積載し、電動式自動昇降装置(佐藤工業所製 SSA-II)を設けること。
- (16) 荷台上部に資機材の収納ボックス(アルミ製ボックス)を設け、走行中に収

容物が破損等をしない構造とし、ボックスに吊り上げフックを設け、クレーンにより容易に昇降できる構造とすること。また、クレーンジブの下方に収納ボックスを設けること。また、荷台上部に積載可能なボックスを1ヶ付属すること。
(サイズは別途協議)

- (17) 荷台には、資機材を搭載、移動又は、落下防止するための固定装置（取り付け金具、バンド等）を設けること。
- (18) 車輻左右側面前方には袖板を設け、上方に左右貫通式のボックス、下方に車外無線機送受話器ボックス及び車外スピーカーを設けること。
- (19) 車体天井には、粉末消火器20型（自動車用）1本を取り付けること。
- (20) 荷台側部には、車輪止め（硬性ゴム大型4ヶ）を取り付けること。
- (21) リアバンパーは、後面左右にLED丸形コンビネーションランプ各1式、LED内臓大型折り畳みステップ各2個、バウシャックル各1個を設け、上面左右に両端に手すりを設けること。
- (22) 車両後部の下方に、収納スペースを設け、重量物排除用器具（チルホール）等が収納できスライド式に容易に出し入れできるようにすること。また、上方は小物入れを設けること。
- (23) 装備品の取り付け及び資機材の積載方法については、次によること。
 - ア 資機材の配置については、消防本部担当者と事前に十分な打ち合わせをおこなうこと。また、製作過程において変更の必要があると認めた場合は、指示に従って変更すること。
 - イ 指示する資機材には、アルミ製等の収納箱を製作して収納し、振動等により中の資機材が破損しない構造とすること。また、収納箱には搬送に便利な手掛けを設け、それぞれの品名を記入出来るカードホルダーを必要に応じ設けること。
 - ウ 呼吸器用空気ボンベ（9リットル型）3本以上、潜水ボンベ（12リットル型）3本以上は、収納棚を設けて積載する方法とし、飛び出し防止装置を設けること。
 - エ 車体右側面後方側シャッター内はロープ類、縛帯及びカラビナ等を吊り下げ出来るパンチングメタルの展開パネルを設け、自由に付け替えのできるフックを15個取り付けること。また、展開パネルの奥に上下2段程度の棚を設け、パターン扉を設置すること。
 - オ 資機材のうちでハンマー、バール等の長尺物については、スライド収納装置又はアルミボックス等により次のものを差し込み等の方法により、容易に取り出しできるように取り付けること。
 - (ア) ハンマー 各1本（大、小）
 - (イ) 鉄線カッター 1本
 - (ウ) 万能斧 2本（RCバール）

(エ) 掛け矢	1本
(オ) 手斧	1本 (ライトレスキューアックス)
(カ) 剣先スコップ	1本
(キ) 角スコップ	1本
(ク) ノコギリ	2本 (折りたたみ式)
(ケ) ツルハシ	1本
(コ) バール	3本 (ライトレスキューハリガン30、大型バール2本)
(サ) 鉄筋カッター	1本

カ 装備品及び資機材等を収納する際、緩衝材を必要とするものについては、緩衝ゴム等で保護すること。

キ 車体の両側面リアフェンダー部分前後（高さ1mの位置）に、使用荷重300kg以上の支点（フレノリンクボルト、全方向型）を2個以上設けること。
（取り付け位置は別途協議）

ク 車体の両側板それぞれにステンレス製支点リング（耐荷重100kg以上）を2個以上取り付けること。また、取付部周囲に塗装剥離防止のためのステンレス製ガード等を取り付けること。

ケ 各収納ボックスの器具取り出し及び収納の際に、ボックスに損傷を与えるおそれがある部分には、スノコ板等を設けること。

(24) 積載する救助用資機材については、別表のとおりである。

なお、仕様書記載の品名等に限らず、最新式のものとし別途協議すること。

3 ウインチ装置は、次のとおりの性能のものとする。

(1) ウインチ装置は、キャビン前部に設け、駆動はフライホイールPTOにて行えること。

(2) 前部ワイヤーロープは径14mmφワイヤー、長さ30m以上とする。

(3) ワイヤーロープ巻き込み装置に、ローラーフェアリードを取り付けること。

(4) 安全装置（過荷重防止装置及び、逆転防止装置）を取り付けること。

(5) 性能は、最大牽引力5.5トン以上とすること。

(6) フロントバンパーの先端コーナーは、可能な限りカットして丸くし、ウインチを挟んで牽引用のピンドルフック（3トン用ステンレス製）を2個取り付けること。また、下部にバウシャックルを2個設けること。（別途協議）

(7) 有線リモコン操作と無線ラジコン（クレーン操作、照明操作兼用）操作が可能なものであること。

(8) ウインチ操作作業灯を設けること。また、ウインチ使用時、ドラムへのワイヤーの巻取り状況が容易に確認できること。

(9) ワイヤー乱巻き防止装置付きとすること。

(10) テンション表示機能を設けること。(ウインチ本体及び有線リモコンに0.1トン単位で自照式にて表示)

(11) 付属品

ア 玉掛け用ワイヤーロープ(アイ付きステンレス製、径10mm、長さ1m、3m、5m、を各2本)及びワイヤー用滑車

イ ウインチヘッドに防水カバー(ステップ兼用、脱着が容易なもの)

(12) 本仕様書に明記されていない事項は、ウインチメーカー公表の標準仕様とすること。

4 クレーン装置は、次のとおりの性能のものとする。

(1) クレーン装置は、ブームは荷台の上部にブームを前方方向に収納すること。

(2) 動力伝導装置はフライホイールPTO方式(確認ランプ付き)とし、油圧ポンプ(定格出力:200kgf/cm²以上)を駆動させることにより作動すること。

(3) 最大吊り上げ能力2.9トン、最大作業半径7.5m以上とし、最大地上揚程9m以上とすること。

(4) アウトリガー最大張出し幅は3600mm以内(最大クレーン容量2.93t×2.6m以上、七角形ブーム段数3段以上)とすること。

(5) クレーン装置は車体と同色とすること。(下地はカチオン塗装を施すこと)

(6) 付帯装置

ア 荷重計

イ 巻過防止、乱巻き装置付き(ワイヤーロープ押さえ装置)

ウ ブーム、アウトリガー未格納警報装置をキャビン内に取り付けること。

エ クレーン・PTO確認ランプを取り付けること。

オ 操作レバーを有効に照明できる照明灯を(防水型LED MYS P-L18-W)左右操作部に設けること。

カ 無線ラジコン装置(照明・ウインチ併用型)を取り付けること。

キ アウトリガー飛び出し防止装置は、二重安全装置を取り付けること。

ク 両アウトリガーの端部には黄色点灯(アウトリガー連動)を取り付けること。また、アウトリガーに側板カバーを取り付けること。

ケ 荷を平行移動及び水平移動できる、ナビ機能を設けること。

コ 旋回自動停止付格納装置付とすること。

サ 操作部の見やすい箇所にデジタル式荷重計を設けること。

シ ブーム高さ制限装置を設けること。

(7) 付属品

ア 油圧オイル用予備オイル 60リットル(20L×3缶)

イ ベルト式スリング(2トン用、3m、5m、7m)各2本

- ウ シャックル2個（使用荷重3トン以上）
- エ アウトリガー用敷板2個、車体外部（アウトリガー近く）の容易に取り出せる位置に収納スペースを設けること。
- オ 軽量シャックルSE-20型4個、SE-30型4個。

5 照明、発電装置は、次のとおりの性能とする。

(1) 照明器具

- ア 照明 LED2000W×2灯
- イ 電源 AC200V
- ウ 上面障害検知センサーを照明本体に取付け、上面障害物との距離が2m以下となると安全装置が起動し、伸縮柱が上昇できなくなること。自動上昇中に安全装置が起動した場合は、伸縮柱の上昇を停止してその場で旋回・起伏しLEDを点灯すること。
- エ 発電機起動後、1つのボタンで右90度、左90度、正面の3つの位置に自動上昇(伸縮柱の全伸⇒旋回⇒投光器の仰動作)を行い、対象物への照射を迅速に行なえる自動上昇装置を設けること。なお、障害物までの距離を操作ハンディリモコンに表示すること。
- オ 自動収納装置を設けること。

(2) 伸縮、ふ仰旋回装置

- ア 設置場所 資機材収納ボックス上部
- イ 伸長高 全伸長3.0m以上
- ウ 旋回角度 180度
- エ ふ仰角 360度（エンドレス回転）
- オ 周波数 50Hz／60Hz
- カ 伸縮速度 150mm／S以上
- キ 操作方法 ハンディータッチパネル式コントローラー、無線リモコン（ウインチ、クレーン兼用）
- ク 伸縮段数 5段

(3) 発電装置

- ア 出力 13KVA以上
- イ 電圧 200V（50Hz）／220V（60Hz）
- ウ 電流 34.1A
- エ 電気方式 三相
- オ 周波数 50Hz／60Hz
- カ 発電方式 ブラシレス式励磁方式
- キ 駆動方式 フライホイールPTO
- ク 差し込みコンセント（100V）を車両の前後に各1個以上設けること。

なお、コンセントは2極平行盤型ロック式コンセント15A2個付きとし防水型とすること。

コ 表示灯（塔上昇中、発電中、照明中）はパイロットランプで表示すること。

サ フライホイールPTOにより油圧ポンプを駆動させ、油圧により発電機を駆動させること。なお、発電機定格出力送電中の走行用エンジン回転数は毎分約950rpmを維持する低速回転モードとウインチ・クレーンをスピーディーに作動させるため、約1200rpmを維持する中速回転モードを設けること。また、発電機定格出力範囲内において負荷が発生した場合、及びクレーン、ウインチを同時に使用することによる負荷が生じて、同じくエンジン回転数は各モードの回転数を維持することができ、且つ照明照射の維持、並びに電源供給による作業、クレーン及びウインチ操作の作業が、支障なくとり行うことができること。

6 無線電話装置（車載型）

消防無線電話器等、取り付け配線は次の要領とする。なお、機器本体の仕様書については、別に定める。

- | | |
|------------------------------|----|
| (1) 消防用無線電話器 | 1 |
| (2) 無線用ホイップアンテナ | 1 |
| (3) キャブ後部用スピーカー | 1 |
| (4) 車外スピーカー（前後部、スイッチ付き） | 各2 |
| (5) 車外無線送話器及び取り出し口 | 1 |
| (6) 配線は、同軸ケーブル保護管付きで配線を行うこと。 | |

7 塗装について

(1) 塗装

ア 塗装面は錆を落とし、油類の清掃、洗浄を完全に行い乾燥を充分に行った後塗装すること。

イ 指示する以外の車体塗装は朱色とし、良質な材料を用いて、ウレタン塗装を行うこと。

ウ 指示する物にはクロムメッキ処理を施すこと。

(2) 塗装箇所

- | | |
|-------------------------|--------------|
| ア ボックス内 | シルバー |
| イ クレーン本体 | 朱色塗装（消防色） |
| ウ クレーンジャッキ | 黄色と黒色のトラサク塗装 |
| エ フロントバンパー | 朱色塗装（消防色） |
| オ キャビン内部 | シャーシメーカー標準色 |
| カ 床裏及びフェンダー裏灯の車体周りは黒色塗装 | |

キ シャッター（両側面） 朱色塗装（消防色）

（3）塗装要領

車体全般の朱色塗装（消防色）はウレタン塗装を行うこと。

ア 素地調整

イ プライマ塗り

ウ パテ付け

エ 水研ぎ

オ 上塗り（仕上げ塗り3回以上）

カ 磨き

8 車輛表示文字

（1）キャビン記入文字

ア キャビン後部両側ドアの中央部に「岐阜市消防本部」と白文字で左横書き記入（1文字 H120mm×Y100mm）し、消防本が指定するデザインを記入すること。

イ 字体は、反射シールによる丸ゴシック体。

ウ 岐阜市と表示した標識板をフロントバンパー右上部に取り付けること。
（標識板及び文字サイズについては別途協議）

エ キャビン前部及び車両後部に白文字で「岐本41」を記入すること。

オ キャビン上部アルミ縞鋼板に黒文字で対空表示「岐本41」を記入すること。

（2）荷台の記入文字

ア 消防本部が指定するデザインを荷台の両側シャッターに記入すること。
（字体、色、大きさは別途協議）

イ 資機材収納箱及び引き出しボックス面に記載する積載品名等は、黒色で寸法は適宜とする。

ウ 車体両側部に消防本部の指示した、ライン及び記号等を記入すること。（デザインについては別途協議）

（3）標識灯の記入文字

ア 字体は、丸ゴシック体とする。

イ 標識灯前面に左から黒文字で記入すること。（文字は「本巢署」）

第5章 その他

1 取付品及び付属品

（1）タイヤチェーン（車輛後輪用） 1組

（2）消防章（キャビンフロント取付、車輛マーク取り外し）φ150mm以上 1

（3）ウインチ装置防水カバーはアルミ製とする。（フロントナンバーはカバーに取り付ける。）

2 協議

本仕様書において疑義等が生じた場合は、消防本部と協議すること。

第6章 検査

1 中間検査

各艤装部分及び取付け品の位置、固定方法等について消防本部職員と中間検査を実施するものとする。(艤装メーカー営業担当者及び製造担当者が立会うこと)

2 検収検査

新規登録検査に合格後、本部が本仕様書に基づいて各種検査を実施し、全てが良好と認め受注者から車両を受領して完了する。(艤装メーカー立会)

しかし、検査の結果で本部が不合格と認めた箇所については、受注者は速やかに改修し再検査を受けること。

なお、改修等に要する費用は受注者負担とする。

第7章 補則

- 1 本仕様書に定められない事項でも、受注者が公表している仕様工作上において、当然必要なことはこれを施工すること。
- 2 資機材等については、努めて軽量化を図るものとする。ただし、強度を保ち変形しないこと。なお、軽量化に伴い変更の場合は本部と協議をすること。
- 3 完成車は、中部運輸局岐阜陸運支局の行う新規登録検査及び緊急車指定申請手続きを完了後に本部へ納入する。
- 4 自動車損害賠償責任保険、その他新車登録手続きに必要な経費（重量税を除く）は受注者負担とする。
- 5 完成車は、新規登録検査に合格後、各部の給脂等の点検整備を入念に実施し、燃料及び各油を満量にして納入検収を受けること。
- 6 保証期間が経過後においても、使用資器材等及び艤装による不備欠陥等による故障破損等は受注者の責任において速やかに修理若しくは交換し、それに要した費用は受注者が負担する。
- 7 アフターサービスは良心的に実施するとともに、修理を要するものについては、迅速、かつ的確に行うこと。
- 8 保証期間は、納入検収後1年間とする。

以上

(担 当) 岐阜市消防本部消防課

TEL 058-262-7162

FAX 058-266-8154

その他装備品

NO.	品名	備考	個数
1	赤色警光灯	大阪サイレン製MRA-B310	1
2	補助赤色警光灯	フロントグリル LFA100	2
		フロントバンパー LFA100	2
		車体左右側面 LFA300	4
		車体後面 LFA300	2
3	作業灯	フロントパネル LIA200	2
		車体左右側面 LIA300	2
		車体後面 LIA300	2
4	電子サイレン	大阪サイレン製 TSK-D152	1
5	電子サイレンスピーカー	大阪サイレン製アクティブ制御スピーカー-MRA-SP-30R	1
6	電動サイレン	6SA	1
7	後退警報器		1
8	ウインチ装置	大橋機産 MCW-550RRT-S	1
9	ワイヤーロープ(アイ付きステンレス製)	径10mm、長さ1m、3m、5m	各2
10	フロントピンドルフック		2
11	フロントバウシャックル		2
12	リアバウシャックル		2
13	クレーン装置	タダノ ZX303	1
14	油圧オイル用予備オイル	20リットル缶	3
15	ベルト式スリング	2トン用、3m、5m、7m	各2
16	屋上発電照明装置	多摩川精機 SQE4000	1
17	標識灯	ハイルーフ内蔵	1
18	無線機・AVM移設		1
19	消火器	20型	1
20	車輪止	大	4

本巢署救助工作車Ⅱ型積載資機材

1 省令別表1

	品名	規格品質等	数量	摘要
一般救助用器具	かぎ付はしご	チタン製 3.1m	1	関東はしごKHFL-TOT31
	ワイヤーはしご	ステンレス製、長さ11m	1	収納ケース付き 関東はしごKHFL-Y-11
	空気式救助マット	スーパーソフトランディングSSL 収納袋に「空気式救助マット」	1	藤倉航装 自立式 専用収納袋付
	救命索発射銃	空気式 収納ボックスに「救命索発射銃」 を記入すること	1	レスキューマックス#411 水難救助セット 浮環弾 専用収納ボックス付
	平担架	タイタンT1スプリット	1	ファーノワシントン製 付属品付き 専用収納袋付
	救助ロープ	白(赤線2本入り)・赤 三打ち12mm×200m	各3箱	東京製綱製 M打ち
	カラビナ	ステン10・12 ダブルストップパー	30 20	KA10W-S KA12K-S
	滑車	ワイドプーリー	5	PL-75W5個
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	ラムシリンダー	1	・株式会社赤尾 ホルマトロ製 テレスコピックラムTR5350LP ステップチョークAセット ロックブロックBセット 若しくは ・帝国繊維株式会社 ルーカス製 ストリームラインラムシリンダーR430 救助用ブロックLSSセット2 ステップチョーク+ケグ2個セット 収納ケース付
	油圧スプレッダー	スプレッダー	1	・株式会社赤尾 ホルマトロ製 スプレッダーSP5250 パワーユニットDPU31PC×2 ハンドポンプPA18H2C COREホース5m×4 牽引アダプタ及びチェーンを含む 若しくは ・帝国繊維株式会社 ルーカス製 スプレッダーSP777 パワーユニットP630SG×2 ホースリールDHR20 牽引アダプタ及びチェーンを含む
	可搬式ウインチ	チルホール(TU-16)	1	チルコーポレーション製 20mワイヤー付き
	ワイヤーロープ	径8mm×8m・6m・4m・2m	各2	ステンレス製(アイ付き)
	マンホール救助器具	救助用簡易起重機 CMCアリゾナポータックス 各収納袋にキット名及びを記入 すること	1式	3年間の教育指導含む 年1回の講習会と必要に応じ指導 レスキューキットデラックス附属 キットフット3種以上、アンカーポイント、延 長棒及びエイゾーブキット付
	エンジンカッター	ハスクバーナ K970Resucue 収納箱に「エンジンカッター」と 記入すること	1	金属用ブレード(10枚) コンクリート用ブレード(10枚) ダイヤモンドブレード(5枚) 加圧式水タンク(3mホース付き) 収納箱付
	ガス溶断器	酸素切断機 オズ製 OZ-100	1式	標準装備品付 予備切断棒 OZ-9-90 25本 OZ-9-60 25本 予備ボンベ付

切断用器具	チェンソー	ルートカッター RC6200P-RKT SET 収納箱に「チェンソー」と記入すること	1	予備レスキューチェーン16インチ付き 収納箱付 自動目立て器付
	油圧切断機	カッター	1	・株式会社赤尾 ホルマトロ製 カッター CU5050i ペダルカッター HMC8Uセット COREホース5m×2 若しくは ・帝国繊維株式会社 ルーカス製 カッターS530 ペダルカッター S120 油圧ホース5m×2
	鉄線カッター	ボルトクリッパー	1	BC600-F
破壊用器具	万能斧	岡田金属製	3	トップマントビ
	ハンマー	大・小 モリタ製	各1	
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	理研計器製 ガス測定器 収納箱に「ガス測定器」と記入すること	1	GX-8000(防爆型) アルミ収納箱付 キャリングケース 乾電池ユニット付 サンプリングチューブ(8m)
	放射線測定器	アロカ製 サーベイメーター 収納箱に「放射線測定器」と記入すること	1	TCS-172B 専用収納箱付
呼吸保護用器具	空気ボンベ	空気ボンベ 9リットル(300kg)	5	エア・ウォーター防災株式会社 最高充てん圧力30Mpa
隊員保護用器具	安全帯	タイタン SL505-PRO-BL-SL505-PRO-	5	ワイド補助ベルト付き ワンタッチバックル式
	耐電手袋	ヨツギ製	5	7000V対応
	防塵めがね		5	山本光学 YG-504
	携帯警報機	MSAモーションスカウト	5	キー付き
	防毒マスク	ドレーゲル社製 吸収缶(予備含む)	5	CDR4500
			20	CBRNCap1
	陽圧式化学防護服	気密一体型 (ネーム入り)	2	ドレーゲルセフティージャパン株式会社 Drager CPS7900 (呼吸器内装) 若しくは ガゼリウス・インダストリー株式会社 トレルケムVPS(VP1) どちらも1着につき保存用バック1つ、プロ ハンズ社製人工皮革製手袋JPK-300 LLサイズ1双、インナーグローブ1双を附 属すること
	化学防護服	気密一体型 (ネーム入り)	2	ドレーゲルセフティージャパン株式会社 Drager CPS7800 (呼吸器外装) 若しくは ガゼリウス・インダストリー株式会社 トレルケムVPS(typeT) どちらも1着につき保存用バック1つ、プロ ハンズ社製人工皮革製手袋JPK-300 LLサイズ1双、インナーグローブ1双を附 属すること
	放射線防護服	インナーサーベイジスーツ	2	KH-3型
		保科製作所製 RI防護服	2	NUK-6000
個人線量計		2	マイドーズアラーム ADM-112	

検 索 用 器 具	簡易画像探索機	簡易画像探索機	1	・ヨネ製 プロアイ751TDS 伸縮棒5m付き 若しくは ・プロカム PC II-780S2
	除染剤散布器	丸山製作所	2	MHC-11D
除 染 用 器 具	除染シャワー	帝国繊維株式会社 除染シャワー全体システム及び 除染テント	1式	・帝国繊維株式会社製 ランコARZ-23 除染テント用給湯器 CBX-P470F-II 除染テント用排水ポンプ LSR2.4S 汚水回収用水槽 TP-2500 若しくは ・太陽工業株式会社製 除染シャワーテント MQ-DTS-2 給湯器(加圧ポンプ無し) 組立式水槽1000ℓ ホースリール 排水ポンプ 高圧ボンベアタッチメント
	投光器	FOXFURY製 LED投光器	1	Nomad360
そ の 他 の 救 助 器 具	携帯投光器	東芝製 水中ライト	5	K-138
	携帯拡声器	最大出力5W以上	2	ノボル社製 TD-504Y 小型で軽量のもの
	応急処置セット	20人用	1式	日本メディコ製 携帯用パルスオキシメータ1個付属 携帯用血圧計1個付属
	その他の携帯救助 工具	万能斧、掛けや、手斧、剣先ス コップ、角スコップ、ノコギリ、ツ ルハシ、バール、鉄筋カッター	1式	仕様書《第4章2(23)オ(ウ)～(コ)》に 記載のとおり ※ライトレスキューハリガン30、大型パー ル2本、ライトレスキューアックス

2 省令別表2

	品名	規格品質等	数量	摘要
切断用器具	空気鋸	エアソー タイガーエアソー	1式	切断歯24番付き (予備歯10枚、予備作動油付き) 専用収納ケース付き
	空気切断機	國富株式会社 空気工具300型	1	専用収納ケース付き 29.4MPa対応
破壊用器具	削岩機	HILTI コード式コンビハンマードリル TE 70-ATC-AVR	1	収納箱付 コアビット F-BK
呼吸保護用器具	酸素呼吸器	圧縮酸素形循環式呼吸器 予備ボンベ付きシゲマツ製	2	オキシゼム11 予備吸収剤ポリ缶付き
	簡易呼吸器	シゲマツ製	2	ライフゼム2型
	防塵マスク	シゲマツ製 GM28	5	吸収缶(CA27L3) 予備缶付
	送排風機	サンキ製ポータブルファン スパイラルダクト	1 2	防爆ママ BM-C ダクト収納袋付
隊員保護用器具	耐電衣	ヨツギ製 YS-121-3-1	2	サイズ大(ジャンパー型)
	耐電ズボン	ヨツギ製 YS-122-1-2	2	サイズ大
	耐電長靴	ヨツギ製 YS-111	2	27cm
その他器具	緩降機	消防科学研究所製 スローダン125	1	ロープ30m
	ロープ登降機	ベツル製 アッセンション	2組	右手用 ペツル B17ARA 左手用 ペツル B17ALA
	発電機	新ダイワ製 iEG2500	1	定格出力2.5KVA以上 ガソリンエンジン

3 省令別表第1、地域実情分

品名	規格品質等	数量	摘要	
水難救助用器具	潜水器具			
	BCジャケット	4	・レイソンプロスベックBC(RSX11-j) (株)フラッグ G18401/OR ・ストロボライト(AL15A) 点滅式LED	
	レギュレーター	4	・レギュレーター(1st/2nd) (株)フラッグ RS01-jbe ・セーフティセカンド (株)フラッグ RS-OCT-i ・3連コンソールゲージ(圧力計・水深計・コンパス)水温計付き	
	潜水用ヘルメット	4	潜水用ヘルメット(ハーフカットタイプ) 日本アクアラング	
	潜水用マスク	4	マスクバンドロングDX&マンティス5BKシリコン(GM-1039) (株)キヌガワ セイフオレンジ マスク1つにつきシリコンバンド2本付属すること	
	シュノーケル	4	カナルドライSP(GS-3162) (株)キヌガワ シュノーケル1つにつきマウスピース1個を付属すること	
	グローブ	4	潜水グローブ(ケブラー使用) RQ3	
	ブーツ	4	ブーツDS HEAD JAPAN(412626)	
	フィン	4	スーパーミュ-XX(GF-2431) (株)キヌガワフィン スプリングストラップ	
	フィン(ドライ用)	2	スーパーミュ-XX(GF-2432) (株)キヌガワフィン スプリングストラップ	
	ウェイトベルト一式	4	鉛5kg ステンレスバックル付ベルト1.25m 日本アクアラング	
	水中ライト	4	LEDライト(CF450II)664062 日本アクアラング ハンズフリーグローブ付属	
	水中ナイフ	4	ジャックナイフ(705010) 日本アクアラング	
	潜水用付属品		・ラインリール2個 ・収納バック(アクアギアバッグ)4個 日本アクアラング	
潜水用ポンペ	8	12Lメタリコン(K2バルブ付) 刻印 バルブキャップ		
救命胴衣	レスキュー隊員用救命胴衣	6	BSR-905(Features)	
流用水救助器具	スローバック	6	ウエストスローライン15m	
救命浮環	日本救命器具 P-230K型	1		
救命ボート	アキレス製SEI-365 船体に消防本部名とNo.27を入れること 船体検査に必要な資機材を全て装備すること (アンカー・信号紅炎等)	1	エアガン付き	
船外機	ヤマハ製	1	25馬力	
山岳救助用器具	バスケット担架	ファーノワシントン製 バスケットストレッチャー	1式	モデル71-S
		4ポイントブライドル	1	モデル418-1
	登山器具	別紙仕様書		

4 別表以外

品名	規格品質等	数量	摘要
救助用ハサミ	セーフティボーイ	1	
燃料携行缶	金属製	2	5L×2
		1	10L×1
工具	KTC製工具セット	1式	SK40
資機材搬送用具	リュックサック15L型	2	スノーピーク製
トランシーバー 特定小電力無線機	八重洲 スタンダード 防水型マイクロホン付き	5	FHT308 咽頭マイク、ヘッドセット付属
検電チェッカー		1	HEV-750D
コードリール	旗屋製作所	1	TG-150
		1	SKB-30
エアバック作動防 止器材	エアバッグ保護カバー	1	セキユネットⅢ

山岳救助用器具仕様書

	品名	規格品質等	数量	摘要
山岳救助用器具	登山器具	ロープ保護カバー	4	TX-262-1
		ロープ投下袋 (35リットル)	3	ペツル製 S32
		『フルボディハーネス』 ※労働安全衛生法適合品 消防本部担当者と別途協議	5	・ペツル製グリヨン(2m)付属 ・ショックアブソーバー付属
		I'D(アイディ) 『下降器』	2	ペツル製 D20S
		レスキューラック 『摩擦調整型下降器』	2	ペツル製 D11
		ツイン 『ツインプーリー』	2	ペツル製 P65
		マインダー 『シングルプーリー』	3	ペツル製 P60
		レスキュー	5	ペツル製 P50
		ポー 『リギングプレート』	各2	ペツル製P63S、 P63M
		スイベル 『より戻しコネクター』	3	ペツル製 P58L
		デジタル張力計	1	エンフォーサー
		レスキューハーネス	1	
		リギングセット	1	アズテック プロシリーズシステム
		ザイルロープ	エーデルリッド社製	各3
	チューブラーウェービングテープ		4	グリーン(1.5m)
			4	イエロー(3.6m)
			4	ブルー(4.5m)
			4	オレンジ(6.0m)
			4	レッド(7.5m)
	プルージックコード	8mm	各1	赤、グリーン各50m
カラビナ	オーケー(ボールロック式) オーケー(トライアクトロック式)	各15	30個	
	AM'D(トライアクトロック式)	15	15個	
	ウィリアム	10	10個	